



応援団三世代のリードで、母校の発展を激励

総会

令和元年度の総会・懇親会が6月22日午後2時より、例年同様大手町サンケイビル4階ホールで開催された。

母校から山岸亀城同窓会会長、五十嵐文彦校長や同校教諭を迎えて、在京からは日頃から交流のある酒田・鶴岡・酒田中央・天眞学園・酒田南・鶴岡南、鶴岡北・鶴岡中央・鶴岡工業、と庄内総合高校（庄内町）の同窓会長らに、今春母校を卒業した大学生5人も加わり、合わせて154人が集い、共に母校の発展を願った。

元木徹会長は「来年は当会創立55周年、母校は100周年を迎える、会報の増ページ・母校に対する記念品の贈贈を考えている」と会員への協力を要請した。

五十嵐校長からは進学の実績、運動部の成績、文化部の活躍等近況の報

告、1年生のマレーシア研修等東京亀城会の協力の感謝の意が示された。

五十嵐校長は「来年100周年記念を向けて、教育環境、奨学金制度の充実を目指す」と募金の協力を要請した。

総会決議において、遠藤功氏（44回卒）を議長に、昨年度の事業（高橋副会長）、決算（金井副会長）、監査結果（進藤弘監事）が報告された。

また、今年度の事業計画（高橋副会長）、予算（金井副会長）、人事案（石山事務局長）の提案があり承認された。

（事務局長 石山尚徳 49回）

<p>温故知新</p> <p>古書店</p> <p>五十嵐智（昭和28年卒）</p> <p>Tel 169-0051 東京都新宿区西早稲田3-20-1 Phone 03-3202-8201 www.oldbook.jp</p>	<p>相川俊明法律事務所</p> <p>弁護士 元木 俊明 (昭和41年卒)</p> <p>〒133-0085 埼玉県入間市反対木町四丁目九七 TEL 049-884-1186 FAX 049-884-3443 TEL 049-884-4707 FAX 049-884-4708</p>
--	---

東京二八会

会長 前田 滋

事務局 松戸市小金蔵七丁目一
五十嵐 昌士

電話 0473-450-84

会長・窓口/ご挨拶/同窓会母校報告

創立55周年を迎えて

東京亀城会 会長
元木 徹

亀城同窓会 会長
山岸 文章

酒田東高等学校 校長
五十嵐文彦

平成27年の創立50周年後、財政改革、会報とホームページの充実、交流芋煮会等のイベントの企画、母校支援の東京キヤリア研修への協力などに定めの成果をあげてきました。

今年は、創立55周年を迎え、6月27日に盛大な記念総会・懇親会を盛大に開催する準備をしておりました。

また、母校創立100周年の記念すべき年でもあり、当会では、母校の意向も伺い、当会独自に母校に贈る記念の品を検討しているところです。

ところが、新型コロナウイルスの感染拡大により4月16日には、全国の都道府県に緊急事態宣言が発出され、5月7日には延長されました。この状況下では、総会・懇親会の開催は困難と判断し、総会を書面議決とし、懇親会は止むなく中止にしました。

来年は2年分の盛大な総会・懇親会を開催したいと思いますので、当会に対し御支援・御協力をよろしくお願い致します。

最後に、新型コロナウイルス問題の早期の終息と皆様の御健康・御多幸を心からお祈り致します。

さて、未曽有の新型コロナウイルス感染で世の中が大きく揺れ動いており、終息が見通せない状況ですが、母校創立100周年記念が間近に迫りました。記念事業を達成させるために、寄付金の応募について亀城同窓会員の皆様にご依頼の文書を発送したところ、全国各地の多くの方から趣旨に賛同いたしました。記念事業を達成させるために、寄付下さいました皆様に厚く御礼申し上げます。しかし目標金額にはほど遠く、卒業生2万余名を輩出している伝統校として情けない状況にあります。

寄付金の募集期間は、令和3年3月31日までです。私達を育んでもくれた母校の発展のために引き続き協力をお願い申し上げ挨拶といたします。

東京亀城会の皆様には、日頃より本校の教育活動にご支援をいただきておりますことに、心より御礼を申し上げます。加えて、今年度の本校創立百周年に当たり、特別のご支援いただきますことに、この場をお借りして感謝申しあげます。在校生たちに東京亀城会の皆様の後輩へ託す思いを感じてもらえるものと確信しております。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により日常の生活が脅かされる事態となり、皆様には、「心労の絶えないこと」と拝察いたしております。学校においても、県の通知などにより、卒業式、入学式は卒業生、入学生のみとするなど、通常とは大きく異なる対応を余儀なくされました。この原稿を作成している時点でも学校が再開されておらず、主役の立場で生徒たちをしつかりとした学びのできない舞台とでも言いましょうか、閑散とした校舎となってしまっています。

このような厳しい状況下ではありますが、新たな世紀に歩み出した本校において、生徒たちをしつかりとした学びの上で育していくために、教職員丸となって取り組んで参る所存ですので、引き続きよろしくお願いします。

新たな世紀に学ぶ
生徒のために

全員参加のベリーダンス

実行委員長 4回 遠藤功

2019年度、東京亀城会事業並びに予算案が可決承認され、総会が終了すると懇親会の幕開けです。定番となるたつ庄内の酒玉コニャク、漬物等が各テーブルに用意され、ほんのり酔い加減になつた頃、舞台では素敵な衣装を身に着けたダンサーが、44回卒の高田尊潤さん監修のペリーダ舞

A photograph of a man with glasses and a white shirt, standing behind a dark wooden podium with a microphone. He is gesturing with his right hand while speaking. The background is a plain, light-colored wall.



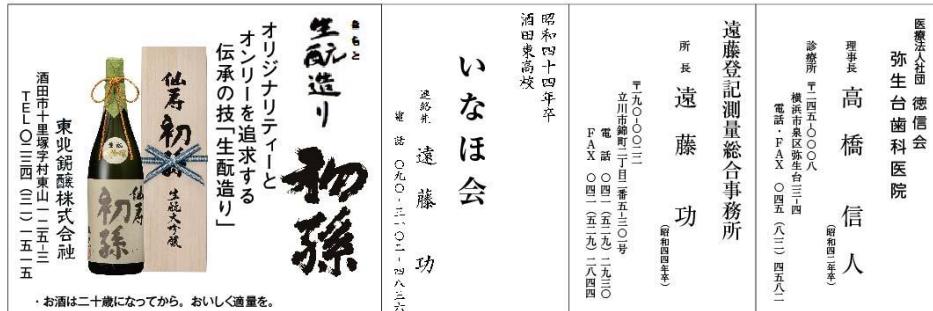
テーブル
代ごとに
上がりました。



総会・懇親会コメント

令和元年度の幹事は、4の年次で44年卒遠藤功さんを実行委員長に、54年、64年がしっかりとサポートしました。総会はより分かり易く、円滑な進行でした。懇親会は、歓談から怒濤のイベント連打、とても楽しくエキサイティングでした。ペリーダンスは、我々の想定の遙か上を行くパフォーマンスで、「プロ」の至芸。本当にいいものを拝見しました。応援団三世代のリードでの校歌、旧校歌、激励歌、泣けました。「4」の年次の皆様方、本当にお疲れ様でした。(写真、撮影 岩手大主務部会長 次長 53回)

幹事年ということで懇親会に参加させていただき、今まで知らなかった大先輩方のお話を伺うことができる貴重な機会になりました。また、現役の先生方にお会いできたり、高校の近況報告を開けたりと非常に楽しい時間を過ごさせていただきました。(成澤貴幸 74回)



東京ふくの会

東京ふくの会
連絡先　富樫　弘喜
本・西高校

昭和三二年

卒電話〇四五八

東京燐燐會

連絡先電話

昭和三四年上
酒田東高校

酒田東高校

卷之三

說理大集

手写说怪

税理士

四一

母校支援 酒東生キャリア研修

「生徒たちに何らかの刺激を 仕事のやりがいや経験を熱く語る」



62回
宮本 健一

11月10日(日)に、約200人の酒東1年生が上京して、国立オリンピック記念青少年総合センターでキャリア研修が開催されました。東京亀城会からOB・OGの20名が協力し、生徒に対して、学生時代の過ごし方、仕事の内容ややりがい、様々な経験、生徒に期待することなどについて、熱く語りました。伝統的に(?)シャイな生徒が多い酒東ですが、先輩の話に耳を傾け、一生懸命に質問を捻り出していました。

この取組みは、生徒200人のうち1人でも、彼ら彼女らの考え方方に何らかの刺激を与えることができれば、成功だと思います。その採点は難しいですが、熱心なOB・OGの皆さんのおかげで、合格点に達していると信じています。ご協力いただいたOB・OGの皆さん、どうもありがとうございました。

◆生徒の感想より

すらできていなかつたが、これからはしっかりと学習し、様々なことをしてみたいと思った。

○言われたことを言われた通りにやるのではなく、自分なりにやり方を考え行動しようと思った。未来の構図も思い描きながら生きていこうと思った。

○「自分の判断軸」を持つこと。当然キャリアだけでなく、人間関係や勉学の仕方、自分の考え方にも大きな影響を与えるものだと思った。

○コミュニケーションを大事にする。大学がゴールじゃないと改めて意識できた。大学に入つて探すという考え方がとても印象に残りました。仕事に就いたとき必要になる信頼と信用を得るために、今のうちから時間を意識して生活していくべきです。

◆目的

- ①社会人（企業人）として、将来の社会貢献の在り方を具体的に考えるきっかけとする。
- ②社会の現状を知ることや、多角的な視野を身に付ける。
- ③OB・OGの方々から将来に向けた助言を頂き、現状を見つめる機会とする。

講師1人を生徒8名程度が囲み、講師より現在の職業や仕事内容、学生時代の経験、後輩の酒東生へのアドバイスなどについて熱く語り、生徒との質疑応答、意見交換を行う。OB・OGは、以下について熱く語り、その後生徒との質疑応答・意見交換を行う。

（仕事・会社）



熱心に聞き入る
生徒たち

関東近郊のOB、
OGで酒東キャリア研修へ
ご協力くださる方、ご連絡ください。

担当／東京亀城会

宮本 健一(62回)
miyamoto100@gmail.com



2019年度 OB・OG 講師名簿

53回	夫嶋	太志	出光興産(株)
54回	岡島	理香	横浜桐蔭大学 法学部講師
55回	菊池	三佐	株日立システムズ
56回	梅津	英夫	講師(元ANAキャリアアテンダント)
57回	後藤	優幸	日本電気㈱
58回	白畑	秀克	EYアドバイザリー&コンサルティング㈱
59回	常田	恵妙	各種ビジネスマナー
60回	島	健良	NECネクサソリューションズ㈱
61回	佐藤	恵子	オリエンタルモーター㈱
62回	小野寺	希子	合同会社じころスペース奏代表
63回	佐々木	満誠	国立研究開発法人 産業技術総合研究所
64回	庄司	健人	独立行政法人 国際協力機構(JICA)
65回	野崎	悟美	株ワイ・プランニング(活動弁士)
66回	藤山	聰美	横浜薬科大学 薬学部教授
67回	佐藤	絢子	わかは皮膚科クリニック 院長
68回	佐藤	文絵	MAD creation 代表
69回	石川		芦原太郎建築事務所
70回			大田区役所
71回			株イニシャル(Vector Group)
72回			花王(株)

語ばかり大切だと思っていたため、改めて気づかされた。

○どんなことにおいても、基礎は重要だなどとした。今後様々な課題に取り組む上で、自分の考え方を持つことが探究につながり、新たな気付きにもつなって意識しておきたい。

○人に対する礼儀やマナーを見直したいと思った。目を見て笑顔で��拶、どんな相手でも話をきちんと聞く、当たり前のことを大切にすること。

○は興味を持ったものにどんどん挑戦したい。

○今私の必要なのはなんといつても勉強だと感じたので、たくさん勉強する力をつけたいと思いました。また、強い意志がないとやついていけないとわかったので、目標を定めて覚悟を持つ頑張りたいです。

○「まわりは変わらない。自分が変わること」という言葉が、当たり前だけどすごく心に残った。

○海外で人とうまくコミュニケーションをとるために、普段から自分の意見を主張していきたいと思った。また、気

持ちの切り替えも身につけたい。

○人生を楽しむことこそが必要だといふことを感じた。自分も、自身を支える軸を作りたいと思った。

○「人脉」はとても大切。身の周りにいる友達だけでなく、自分に関わっている人すべてを大切にしようと思う。

○自分が何をやりたいかをまとめる軸を作りたいと思った。

○講師の先生方に共通していっているのは、勉強だけではなく、趣味などで幅広く、たくさんの経験をしていることだった。僕は勉強



今回講師として協力下さったOB・OG

Orientalmotor

精密小型モーターおよび制御用電子回路などの開発・製造・販売

オリエンタルモーター株式会社 www.orientalmotor.co.jp

鶴岡中央事業所 山形県鶴岡市宝田1-13-30
鶴岡西事業所 山形県鶴岡市大宝寺日本国271-5

平
場
田

企業サイト www.hiraboku.info / オンラインショップ www.hiraboku.com



オリンピックは東京だけじゃない! 酒田にオリ・パラがやってくる!

～2020東京 オリンピック・パラリンピック 酒田市 ホストタウン事業～



第62回 酒田市地域創生部
交流観光課 課長補佐

池田 郁雄
子ども4人
ライフワークはバスケットボールの指導

□ ホストタウンになったきっかけ

酒田市がニュージーランドのホストタウンになったきっかけは、東北公益文科大学のニュージーランド研究所が日本におけるニュージーランド研究の拠点として研究・教育活動を展開していることです。ニュージーランドは、人口約500万人で、国土は日本の本州くらいの大きさです。世界で初めて女性参政権が実現した国で、男女共同参画が進んでいる国です。ジャシンド・アーダーン首相は、39歳の女性で、首相就任後、産休を取得したことでも有名になりました。ラグビーが国技で、昨年のワールドカップでの活躍と「ハカ」と呼ばれるマオリの戦い前の踊りは記憶に新しいと思います。



ニュージーランドは、人口約500万人で、国土は日本の本州くらいの大きさです。世界で初めて女性参政権が実現した国で、男女共同参画が進んでいる国です。ジャシンド・アーダーン首相は、39歳の女性で、首相就任後、産休を取得したことでも有名になりました。ラグビーが国技で、昨年のワールドカップでの活躍と「ハカ」と呼ばれるマオリの戦い前の踊りは記憶に新しいと思います。

キャンプを誘致・交流する競技団体としては、全国的に歴史のある「みなと酒田トライアスロンおしんレース」が開催されていることから、トライアスロン競技をターゲットにしました。

□ 主な取り組み

酒田市では、2017年に駐日ニュージーランド大使を招へいしたことを皮切りに、トライアスロン・ニュージーランドの強化部長

を招待し練習施設を視察していただくなど、東京2020大会の事前キャンプの誘致を続けてきました。2017年からは、おしんレースをニュージーランドのトライアスリートにとっての「武者修行の場、若手の登竜門」と位置づけ、将来のオリンピアン候補となる若手選手を招待しています。おしんレースに参加するのはもちろんのこと、高校生との交流会や小学生との合同練習など様々な国際交流を行ってきました。

その実績を受け、昨年7月にはトライアスロン・ニュージーランド代表チームが酒田市内で1週間のキャンプを行い、丸山至酒田市長（47回）とハミッシュ・カーター強化部長（2004年アテネオリンピック、トライアスロン金メダリスト）が、2020大会本番での事前キャンプ地として協定を締結しました。

市民への周知という部分では、高校生が活躍してくれています。酒田光陵高校ビジネス流通科の生徒たちは、ニュージーランドのマヌカハニー・ヤクキータイム（日本では原宿に1店舗のみですが、NZエアラインの機内おやつにも出てくる有名なクッキー）を入れ、各種イベントの際に販売しながらニュージーランドやホストタウン活動の紹介をしてくれています。

また、酒田東高校の後輩たちは、モスバーガー酒田南店とコラボして、店内にニュージーランド紹介ブースを展開してくれています。ニュージーランドサイズ、料理のレシピ、Kiwiバードの塗り絵を配置するなど、高校生らしいアイデアでホストタウンの情報発信を行っている姿はテレビニュースでも取り上げられました。

将来を担う国際感覚あふれる若者たちの育成につながるよう、今後も様々な展開を図っていきたいと考えています。



「企業版ふるさと納税」で
ふるさと酒田市を応援してください！

通常のふるさと納税はこちら！
お問い合わせまで
令和元年度は18億円を超えるご寄附をいただきました

コロナウィルスの拡大で大変な状況ですが、みんなで頑張って乗り切りましょう！

企業版ふるさと納税は、酒田市が行う地方創生の取組みに対する企業の寄附について、法人関係税を税額控除する制度です

最大9割
が控除！

損金算入（約3割）
国税+地方税
(約4割)
法人住民税+法人税
(2割)
法人事業税
(1割)
企業負担

○1回当たり10万円以上の寄附が対象となります
○令和2年4月1日以降の寄附が対象となります
○本社が所在する自治体への寄附については対象外です

詳しいは酒田市ホームページをご覧ください
■酒田市企画調整課 TEL0234-26-5704

酒田市 企業版ふるさと納税

2021年に開催が決まった「東京オリンピック・パラリンピック」。成功させるために一役買っているのがホストタウンだ。ホストタウンとは、海外選手の事前合宿の受け入れや参加国と文化交流を行う自治体のこと。日本全国で493の自治体が名乗りを上げている（2020年4月7日現在）。酒田市はニュージーランド・トライアスロンチームのホストタウンに登録。その運営に酒東の卒業生が関わっている。新型コロナウイルスに負けじと、ホストタウン事業の運営に関わる酒東OB2人に、その活動内容や思いをうかがった。



第84回 酒田市地域創生部
交流観光課主事

数馬 大蔵
独身 剣道4段

□ ニュージーランドを身边に感じてもらう！

私は東北公益文科大学と連携したホストタウン活動について紹介させていただきます。初めに紹介するのは、ニュージーランド社会のことを身边に感じていただくための市民向けの連続講座の開催です。「Get to Know New Zealand! ~ニュージーランドを知ろう~」と題した講座は、東北公益文科大学ニュージーランド研究所のコーディネートにより、日本とニュージーランドの共通点やマオリ文化と歴史、先進的な福祉・子育て施策、国技としてのラグビー等について楽しく学びます。ニュージーランドのホストタウンとして酒田市が目指すものについて考えを深める機会となっています。



NZ連続講座は15回行われた

□ 首相のデスクに傘福が！

次に紹介するのは「ニュージーランド傘福制作プロジェクト」です。東北公益文科大学ニュージーランド研究所では、ニュージーランドに留学経験のある学生とともに、2019年3月に発生したニュージーランド・クリストチャーチ襲撃事件の被害者に哀悼の意を

込めて、「ニュージーランド傘福」を製作・寄贈するプロジェクトを立ち上げました。庄内傘福研究会の協力の下、キウイやシルバーファン、北前船等のニュージーランドと酒田市ならではの飾り物を吊した傘福を製作。大学の研修プログラムでニュージーランドを訪問した際に、酒田市ニュージーランド市民交流団とともに、クリストチャーチのアーノル・モスク、ニュージーランド政府、オークランド日本人会に寄贈しました。

また、このニュージーランド訪問においては、オークランド日本人会の皆さんと傘福製作ワークショップを行い、新たな交流を築きました。ニュージーランド政府に寄贈した傘福は、なんとアーダーン首相ご自身のデスク上に飾られています。（アーダーン首相のインスタグラムに投稿されています。）東北公益文科大学のニュージーランド研究所の存在が、酒田市とニュージーランドの交流において大きな架け橋となっているところです。

□ 酒田市はニュージーランドの応援団！

このように、私たちが携わる酒田市のホストタウン事業では、様々な分野の市民と協力しながらニュージーランドとの交流を深める中で、スポーツの素晴らしさを再認識し、お互いの国の良さを学び、ニュージーランド・トライアスロンチームがオリンピックで好成績を収められるように、市民全體で支援する準備を着実に進めるとともに、オリンピック終了後も共生社会づくりにおいて、ニュージーランドの先進的な社会施策を学び続けたいと考えています。



米国歯科補綴専門医
米国歯科補綴ボード認定専門医 熊谷直大 (74回)



〒105-0021 東京都港区東新橋2-11-4 マヤバ汐留プラザ2F
Tel 03-3578-7150 Fax 03-3578-7153



〒998-0037 山形県酒田市日吉町2-1-16
Tel 0234-22-1837 Fax 0234-22-1858

伊藤 正治郎

昭和三五年卒
酒田東高校

東京珊瑚の会は、35回卒業で、株式会社の社長

染谷英雄は同期の仲間です。同期313名は多彩な

人材を輩出し、各方面で活躍しましたが、唯一、

上場会社(ナスダック)の社長を務めているのは

彼一人で、同期の誇りです。

染谷君は、高校在学中に父親が亡くなりため進学の夢を捨て、秋葉原の電気屋で無線機に就職しました。進学校卒業商業、工業、技術的な知識も高い中、営業部で苦労したようですが、持ち前の忍耐と不屈の精神で、7年後に26歳で早くもいざなぐら会社を立ち上げ、苦難の末、平成9年には念願の株式上場までに会社を育て上げました。時代の波にも乗れたことが大きいと思いますが、本人の負けず嫌い、東北人の粘り強さが成功の鍵となりました。当初予定していた上場時期がバブル崩壊と平成不況によりやむなく延期となり、3年後によくやうやく夢がかないます。会社の名前は、「母親の栄子さんからとて「栄電子」としました。母親がこれまで育ててくれた苦労に報いるためでした。

平成28年にはその功績を評価され、創業地の秋葉原で電子部品総合商社として中堅の地位を確立して活動しております。本社ビル建設に際しては、同期の会社(株式会社東京設計室)に設計監理を依頼してくれました。会社の取引先などで設計者はいくらでもあったと思いますが、本社設計は私のところを決めて実行してくれました。本当に感謝しています。ビルの8階のホールは「珊瑚ホール」と命名し、珊瑚の会員のみならず母校東校の関係者も利用できるように開放しております。母校生徒の支援事業として立ち上げた「ゼミ塾」開催にも、数度にわたり場所の提供をしてもらいました。新築の年の珊瑚の会新年会は「珊瑚ホール」で盛大に開催し、みんなで珊瑚君の成功を祝福しました。毎年の新年会は場所を銀座「おばこ」(同期の相馬且君経営)に固定して30数回になりますが、時間の許す限り毎回参加してくれています。いつも懐ぶことな



▲本社ビル8階の珊瑚ホール

く同期の仲間として「おい、おまえ」と呼び合える和やかな雰囲気を作っています。染谷君の企業人としての会社経営の理念は、「事業の成功を独り占めするのではなく事業で得られた利益は支えてくれた人たちに還元する」。同期の仲間や故郷を支援する精神は一貫していて、庄内ゆかりの人たちの親睦会「ふれあい酒田」の会長も務め、毎年郷土のお土産を会員に提供してきました。恩返しの精神は、中学・高校・遊佐町・酒田市において、今まで沼山の支援を続けてきました。「ふるさとの恩返し」といつも言っています。平成28年にはその功績を評価され、酒田市より「功労表彰」されました。人生の一つの区切りを迎ますが、ようやく彼も会社をしりぞき、今後の余生を楽しむための行動を始めました。

東京珊瑚の会

大功電設工業株式会社

取締役会長 後藤 功記

(昭和三五年卒)

珊瑚 悠々

見て、歩いて、体験できる! 工場出来立てせんべい食べ放題!
元祖うすやきせんべい 酒田米菓 FACTORY

リターン! ターン大歓迎!

ぜひお電話でお問合せください

酒田米菓株式会社 〒998-0832 山形県酒田市商羽町 2-24
会社代表 TEL0234-22-9541 / FACTORY専用ダイヤル 0234-25-0017

第35・45回卒

我ら幹事年

第45回

東京城西支部師範代

阿曾 芳樹

島海 重年

世界を制するパワー マッスルトレーニング

高校時代は柔道部で活躍した
阿曾氏。極真会館に入門したのは39才の時、自分の息子にも空手を教わせるつもりで稽古風景を見学したのがきっかけだった。息子は怖がって、「お父さんも一緒にやるなら入門する」と言ったので親子で入門することに。その後に親の方が稽古に熱が入り、暇さえあれば道場に足を運ぶほど空手へのめり込んでいく。1998年からは師範代として門下生の指導にあたるようになりました。

阿曾氏が打撃力強化のために始めたのがパワーリフティング。自らの経験を空手の指導にも取り入れ、独自のトレーニング理論で徹底的にパワーとスタミナを鍛えている。また、自身も選手と一緒にトレーニングを行い、2006年全日本ペンチプレス大会(MII 67.5kg級)と2013年ジャパンクラシック(MIII 66kg級)で優勝している。特にトップクラスの選手のみを対象に指導する強化選手クラスは、根性論ではなく数値目標を設定して全員で達成されることにより躍進的に記録を伸ばし、世界大会での試合でも結果

染谷君は、高校在学中に父親が亡くなりため進学の夢を捨て、秋葉原の電気屋で無線機に就職しました。進学校卒業商業、工業、技術的な知識も高い中、営業部で苦労したようですが、持ち前の忍耐と不屈の精神で、7年後に26歳で早くもいざなぐら会社を立ち上げ、苦難の末、平成9年には念願の株式上場までに会社を育て上げました。時代の波にも乗れたことが大きいと思いますが、本人の負けず嫌い、東北人の粘り強さが成功の鍵となりました。当初予定していた上場時期がバブル崩壊と平成不況によりやむなく延期となり、3年後によくやうやく夢がかないます。会社の名



▲栄電子本社ビル



▲全日本大会出場選手の強化合宿(於:晴海)(後列中央が阿曾氏)(2016年)



▲阿曾芳樹氏



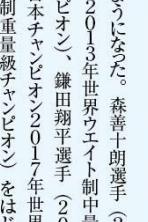
▲島海重年

を残すようになつた。森善十朗選手(2

009、2013年世界ウエイト制中量級チャンピオン)、鎌田翔平選手(2016年全日本チャンピオン)と2017年世界



▲昇段昇級審査会(2015年)



▲阿曾芳樹氏

を残すようになつた。森善十朗選手(2

009、2013年世界ウエイト制中量級チャンピオン)、鎌田翔平選手(2016年全日本チャンピオン)と2017年世界

ウエイト制重量級チャンピオン)をはじめとして、数多くの全日本ウエイト制チャンピオンを輩出している。

現在、阿曾氏は、極真会館東京城西支部師範代として、8道場、およそ650人の門下生を指導している。10代後半から30代前半が3割、幼稚園児から小学生が4割、35才からの壮年及び女性が3割の空手を教える目的も多様で

稽古内容を変えるながらレベルアップを図っている。特に少年部では強さを追求することがすべてではなく、礼儀作法を学ぶことや、自分に自信を持ち、人として成長することを一番の目的にしている。

道場での空手指導のみならず、東京大学、早稲田大学、法政大学、ICU、日本大学、武藏野大学の極真空手同好会の指導も行っている。また空手指導の他に千葉歯科大学大学院会計ファイナンス研究科客員教授として教鞭をふるうなど、まさに文武両道、きわめて多忙な生活を送っている。

学生時代から椎間板ヘルニア、ベンチプレス練習中の大胸筋断裂、空手指導中のアキレス腱断裂などの大けがを克服してきた阿曾氏。その強靭な精神力と空手への情熱は衰えることなく、生涯現役を目指して日々研鑽を積んでいます。

染谷君のアシスタントとして、東京大学、武藏野大学、法政大学、ICU、日本大学、武蔵野大学の極真空手同好会の指導も行っている。また空手指導の他に千葉歯科大学大学院会計ファイナンス研究科客員教授として教鞭をふるうなど、まさに文武両道、きわめて多忙な生活を送っている。

阿曾氏は、その強靭な精神力と

空手への情熱は衰えることなく、生涯現役を目指して日々研鑽を積んでいます。

Violin Viola Cello & Bow

弦楽器修理
販売・修理・メンテナンス
本間弦楽器

弦楽器修理
販売・修理・メンテナンス
本間弦楽器

弦楽器修理
販売・修理・メンテナンス
本間弦楽器

弦楽器修理
販売・修理・メンテナンス
本間弦楽器

弦楽器修理
販売・修理・メンテナンス
本間弦楽器

Nohma Co., Ltd.

経済産業大臣登録
中小企業診断士
野村経営コンサル
伊藤 昌明
S45年卒

国際空手道連盟 極真会館
東京城西支部

幼稚園児から70代まで稽古に励んでいます。

お問い合わせは事務局へ
〒161-0034 東京都新宿区上落合 3-23-17 1階
TEL: 03-3363-8430

落合道場・新宿道場・下高井戸道場・久米川道場
府中道場・吉祥寺道場・高円寺道場・調布道場

我ら幹事年

第35・45・55・65・75回卒

A group of approximately 15-20 people are gathered in a restaurant or cafe. They are all smiling and looking towards the camera. Some are holding up their phones to take pictures. The setting appears to be a casual dining area with tables and chairs visible in the background.

していた矢先にこのコロナ禍ですので、総会中止は残念無念です。今後も不明瞭な状況は続くとは思いますが、さらに一年間、同期生との繋がりを紡いで、是非とも来年の総会はたくさんの仲間が集まる場でできればと思っております。



▲後列左から2番目が筆者

開催から十数年。
すっかり定着の
忘年会

山科範泰

▲12月6日新宿で、何人が
帰った後の写真撮影になってしましましたが…

状況は続くとは思
いますが、さらに
一年間、同期生と
の繋がりを紡いで
是非とも来年の総
会はたくさんの仲間
が集まる場ででき
ばと思っております。

→後列左から2番目が筆者

▲後列左から2番目が筆者

第
45回

満面に笑みを
たたえた記念写真

方林 洋介

菅野 等
。この間、知
た際の最初の

大石 裕基

一般社団法人リュッケ
lykke

丸市 豊也(45回卒)

9月26日同期会、新宿に酒田地区から8名、初参加4名、総勢43名になりました。矢野同期会会長、富士元酒造の挨拶で、結き乾杯、歓談となりました。惜しまるく故藤誠さん最後の寄贈となつた「初孫魔斬」が振舞われるや、五臓六腑に浸みわたり、場は一気に和み庄内弁が飛び交いました。

中村邦一が登場すると、恐るや古希の目前の45卒、ずん胴胸鍋に入ったカリーカーの前に行列が出来43名分が瞬く間に空に。完食でした。先ほどまでの「節々が痛い」「疲れる」「食が細い」となごとく吹く風の旺盛な食欲でした。

校音楽会、白熱の気、エネルギーと統き、

故郷酒田を離れて40年。この間、知人が私を酒田出身と知った際の最初の反応です。

最初の上司「海坂藩か、渋いね」鹿児島出身の仲人「庄内の人には西南戦争で世話をうながした」那覇のスナックママ「椎名誠絶賛のワンタンメンで知った」

広島県厅職員「北前船のロマンで繋がりましょう」

青森県厅職員「じやつぱ汁（タラ鍋）の味比べしよう」

鶴岡出身の佐藤謙「清河八郎、石原莞爾、藤沢周平、佐藤賢、みな鶴岡、酒田は土門拳だけ」

銀座のバー「アーテンダー」「飛島のダイビングで死にかけた」

岡山在住の義母「えらい北のほうやね」まあどんなコメントにも、ジワッと郷

亀城会行事には今回が初参加となる。仕事以外で社会とのつながりがあるだろうか、と最近考える。4年前から社会社のボランティア活動で子どもに向かって実験教室が始まった。北の丸公園の科学技術館友会の小中学生に年2回、3回、化学発光、水のろ過をテーマに行っている。参加した社員は延べ70名。小学生は320名になった。2年前には朝日新聞東京版の記事にとりあげてもらった。仕事を離れて、子どもたちと一緒に過ごすひと時は楽しい。酒東つながりも、もう一つ社会とのつながりにしたい。

A portrait of a man with glasses and a brown jacket standing in front of pink flowers.

第35回 いとう しょうじろう
伊藤 正治郎 建築家

日本大学工学部建築学科卒業後、設計事務所2社勤務を経て30歳の時独立。仲間と㈱設計集団を設立、渋谷で10年間設計業務を続ける。

会長も務めました。70歳で事務所をやめて後、趣味の水彩画を楽しむ毎日です。高校時代、登下校には必ずこの新井田橋を渡り、白海山を眼前に仰ぎ見て歩く

田舎を渡り鳥海山を眼前に仰ぎ見て雄大さ、美しさを目に過ごしました。表紙の絵は、そんな若き日の思いを表現しました。

社会の中で“生きにくさ”を感じている方
まずはお気軽にご相談ください。

相談支援センター「タック」 障害者就労移行支援 lykke アカデミー
TEL : 042-686-2833 TEL : 042-649-8260

住所：〒192-0081 東京都八王子市横山町 25-16 フロイデンビル 2
URL：<https://www.lykke-hachioji.com>



39回(東京三九会) 小松 昇

令和元年10月19日(土) 東京神楽坂において、39回同期会を行いました。第1部は、我らが誇る同期の俳優・佐藤輝さんと、65回卒の活動弁士の佐々木亜希子さんとの共演ライブ公演、藤沢周平作『春秋山伏記』の観劇に始まりました。皆万障やりくりし、観劇だけに、家族同伴で、飲み会だけに駆けつけてくれた方々、同期生の未だ忙しい人生模様を見させてくれました。



43回「元乙女と紅顔の美少年」 信夫 優子

秋も深い11月9日、御連れ合いの方と共に人もいて、26名が東京駅八重洲地下にて集みました。病を推しての方、病を越えての方、色々な時を越えて、52年振りに会った方。「思えば僅か3年席を並べただけなのに懐かしく思うはどうしてでしょうか」と後でメールをくれた方もいて盛会でした。これを機会に2年毎の開催をと思っていました。今年は酒田で、そして来年また東京でお会いしましょう。



44回(いなほ会) 遠藤 功

去年8月 いなほ会のメンバー池田義寛氏が病気療養中であったが亡くなりました。例年11月頃に開催していた会を自粛し、今年3月20日に墓参りを企画しましたが、当初10人を超える参加希望者が、新型コロナウイルス感染の影響が深刻になり、最終的には4人の墓参となりました。その墓地は、彼らしく広大な公園墓地の一画にあり、墓碑には鳥海山が描画されていました。一同合掌し、在りし日の池田氏を偲びました。

次回のいなほ会は11月頃とし、その際に他のメンバーにも報告したいと思いますので、ご参加下さい。

42回 菅原 幸夫

同期会2月15日に池袋にて行いました。
コロナウイルスの一日も早い収束を願っています。
ともどもに、ここを乗り切りましょう。

ファイト!



46回 杉本 千賀子

毎年5月最終土曜日に開催している異会。同期が毎回ハガキを作って案内してくれます。昨年は、31名が銀座のらん月に集まりました。二次会は、62回卒の大瀬司さんが経営する銀座八丁目のお店「ペア」(中央区銀座8-6-7 belle銀座Ⅱビル2F)で、カラオケも交え盛り上りました。同窓ということで、かなりリーズナブルにして頂いたようです。コロナウイルスでたいへんだと思いつながら、終息したら皆様ぜひご利用下さいませ。

36回(山麓会) 小出 和子

中3時の鳥海の暁登山が忘れられず、酒東でバスケットの仲間と「山岳部」に入部しようとしたら「女子はダメです」。仕方なく大学で「女子山岳部」へ。それから山との生活が始まり、山に行けば感動したところでスケッチをしていました。日本山岳会の「山好きの山の絵展」が、時に山麓会の出会いの場になっていました(この写真には、同期だけでなく先輩もありますが)。しかし段々歩くのが困難な人たちが増えました。「鳥海・最上川・日本海」自然に恵まれた酒田で育まれた皆さん、どうぞいつも元気で。



31回「若か氣」 小山 嘉吉

若い気持ちでいる事をこう書くのかどうか知らない。でも我ら三一會のメンバーは若か氣でいるようだ。2019年の関東三一會の懇親会は例年通り11月17日(日)新宿土風炉で行った。会場は私が幹事をしている間はこれからも変えることはないだろう。毎年続けることが大切だと思っている。

11月第3日曜日(今年は11月15日) 13:00新宿土風炉に行けば三一會の連中が集まっていると決めたい。これからも毎年続けていきたい。



33回(東京燐々会) 相川 俊明

令和元年11月11日、京王プラザホテルで27名が出席して楽しく盛り上がった。年々参加者が減っていく淋しさがあるが、会えば昔話に花が咲き、若さを取り戻して帰路につく。自然消滅するまでは、と皆で頑張っている。



34回傘寿記念のブライ旅 増川 威志

還暦以来続く三四(みよし)会の旅。昨年9月に傘寿記念のブライ旅で酒田・関東在住を中心に秋田・神戸・岐阜の仲間と共に開催。夜の銀座を楽しみ、見え隠れする富士の姿を追いかねながら忍野八海・三保の松原・久能山東照宮などを巡る2泊3日の楽しい旅となりました。



28回(東京二八会) 五十嵐 智

毎年花見の季節に恒例の二八会、今年は3月29日の予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止に。ただ、仲間うち10人ほどで毎月、誰かの誕生会を兼ねて飲み会を開催しており、写真は1月19日、靖国神社への初詣の時のものです。

一時は「もう年だしやめるか」という話も出ましたが、「百歳まで生きると豪語する同期もいるため、こうなったらできる限り続けていきます。



**出羽庄内地域文化情報誌
Cradle [クレードル]**

庄内の魅力を地域内外に発信しています

サポートー募集中

株式会社 出羽庄内地域デザイン
TEL:0800-800-0806(通話料無料)

1899年創業から120周年
未来を創る地域企業

株式会社 庄内環境エネルギー
・酒田大浜風力発電所・酒田日向川風力発電所
株式会社ウインドパワーさかた
・酒田第二大浜風力発電所
株式会社ゆざウインドファーム
・西酒佐風力発電所

〒998-0875 酒田市東町一丁目番地の8
TEL:0234-23-5411㈹ FAX:0234-23-5410

Uターン奮闘記

酒田市八幡地域・大沢地区
地域おこし協力隊

阿音采ノ(7回)

阿部さんは、一橋大学社会会学部へ進学し卒業後はIT系の会社に就職。有名ミュージシャンのファンクラブの企画・運営にも携わった。華々しい経歴を捨て郷里にUターンした理由とは



私が高校卒業まで酒田で過ごして、いた18年間は、何もない田舎から早く出たいという気持ちから、大学は東京ばかりで受験・進学。しかし離れてみて初めて、自然豊かな風景や、んぬもの、人や言葉のあつたかなど、庄内の素晴らしさに気づきました。大学卒業後は東京で就職し主にIT系の会社に勤めておりましたが、庄内の魅力をもと多くの人に知ってほしいという思いから、プライベートな活動で、歌手の

内弁ドラマ「んめちや！」の企画や、芋煮ソング「芋煮deハーモニー」の作詞・作曲・企画をし、YouTubeで公開するなどの活動を行ってきました。酒田にヒマーンして故郷のために貢献したいという気持ちが年々高まる中、遊佐町が東京で主催する移住イベントに参加。酒田東高校の1学年上の先輩である和島絆輔さんが登壇され、遊佐町の地域おこし協力隊として東京からヒターンして、自らのデザイナードとしてのスキルを充分に発揮している話を伺いました。自分も協力隊として酒田で働きたいという思いが強まり、酒田市八幡地域・大沢地区的地域おこし協力隊募集に応募し、2018年5月より着任しました。

楯野川
純米大吟醸

世界を代表する Sake TATENOKAWA を目指して



新しい時代を創造し、価値を構築する人間企業をめざして。

ACCESS TO THE FUTURE

明日を描く専門集団

林建設工業株式会社

〒998-0023 山形県酒田市幸町一丁目6番6号
☎0234-23-3322(代) / Fax0234-23-3329

令和元年度事業報告

以下のとおり、①から⑥の事業を実施した。

① 会報発行
令和元年5月15日に第39号を発行。オールカラー、20ページ。

② 総会・懇親会開催
令和元年6月22日(土)14時 大手町「サンケイプラザ」4階ホール
担当者名: 34回 44回 54回 64回 74回
参加者: 会員124名、学生5名、来賓25名 計154名

③ 母校創立100周年記念事業
・酒田東高校の創立100周年に合わせて、自分達を育ってくれた母校に感謝し、後輩である在校生と将来入学していく生徒達に役立つ記念品を贈呈するため、募金を前年度に引き続き実施。
・記念品について、東京亀城会での講論及び酒東校長先生との意見交換を実施。

④ 酒田東高校東京キャリア研修の支援
令和元年11月10日(日) 国立オリンピック記念青少年総合センター
・講師20名を派遣。
・1年生約200名を8名程度ずつのグループに分け、講師を囲んで進路や職業等について語り合う座談会を実施。

⑤ 交流もじ煮会
10月26日(土) 駒込学生会館
参加人数 19名

⑥ ホームページのリニューアル
・デザイン及びコンテンツを一新し、ドメインを次のとおりにした。
<http://kijokai.tokyo/>

⑦ 母校同窓会への参加
・亀城同窓会総会・懇親会
令和元年11月16日(土) ホテルリッチ&ガーデン酒田

⑧ 他校同窓会等との交流(懇親会出席)
・如松同窓会東京支部(鶴岡北高校)
・東京鶴翔同窓会(鶴岡南高校)
・東京有輝会(酒田西高校)
・酒田中央高校東京支部同窓会
・黎明同窓会東京支部(鶴岡中央高校)
・藤門南桜同窓会関東支部(酒田南高校)
・東京みやまちどり会(庄内総合・余目高校)
・城畔同窓会関東支部(鶴岡工業高校)
・酒田光陵高校東京同窓会紫紺会(酒田商業高校)
・酒田工業高校関東支部
・ふれあい田中

⑨ 理事会・会務執行理事会等
・理事会
4月14日(日) 7月20日(土) 12月7日(土)
・会務執行理事会
4月14日(日) 6月8日(土) 7月20日(土)
9月28日(土) 12月7日(土) 2月15日(土)
3月28日(土)
・会計監査(平成30年度分)
4月14日(日)

令和2年度事業計画案

令和2年度は、以下のとおり、①から⑩の事業を実施する予定。ただし、集会を伴う事業については、新型コロナウイルス感染症の状況によって、延期・中止等の可能性がある。

① 会報発行
令和2年6月上旬に第40号を発行。オールカラー、24ページ。

② 総会開催
令和2年6月27日(土)(書面開催)なお、懇親会は中止とする。

③ 母校創立100周年記念事業
酒田東高校に記念品を贈呈。記念品は、母校と調整し、理事会等に相談の上、決定する。

④ 酒田東高校東京キャリア研修の支援
前年度と同様に、母校からの依頼に基づき講師を派遣する。

- ⑤ 交流芋煮会
10月に、野外・屋内を含めて総合的に拡大開催する。
- ⑥ ホームページの維持
会報と密接にリンクを図り、内容の充実化を図る。
- ⑦ 母校同窓会への参加
 - ・酒田東高校創立100周年記念式典
令和2年10月17日(土)
 - ・亀城同窓会総会・懇親会
令和2年11月21日(土)
 - ・酒田東高校運動部OB会総会
令和3年3月上旬
- ⑧ 他校同窓会等との交流
- ⑨ 理事会・会務執行理事会等
 - ・理事会
5月7日(木)※書面開催 7月18日(土) 12月12日(土)
 - ・会務執行理事会
7月4日(土) 9月26日(土) 11月28日(土)
12月12日(土) 2月13日(土) 3月27日(土)
 - ・会計監査(令和元年度分) 4月21日(火)※書面開催

令和元年度決算・令和2年度予算案

I 一般会計の部		単位: 円		
		令和元年度予算	令和元年度決算	令和2年度予算
前年度繰越金		1,530,070	1,530,070	2,057,340
年会費		960,000	860,000	860,000
総会参加費		1,340,000	1,248,000	0
各種会合費		140,000	142,500	90,000
会員運営奨励金		400,000	304,000	300,000
寄附金		0	30,000	0
利息・雑収入		30,000	78,806	30,000
広告掲載料		850,000	860,000	1,000,000
50周年特別会計から繰入		383,179	383,179	
収入小計		4,103,179	3,906,485	2,280,000
収入合計		5,633,249	5,436,555	4,337,340
会議費		30,000	14,940	15,000
各種会合費		140,000	97,596	90,000
涉外費(他団体交流費)		250,000	224,000	164,000
総会運営費		1,400,000	1,473,998	117,000
同窓会発足支援費		60,000	0	60,000
支出				
母校支援委員会活動費		120,000	100,000	120,000
会報制作発行費		1,000,000	986,751	1,200,000
ホームページ運用費		110,000	107,438	70,000
イベント開催費		100,000	24,649	80,000
事務経理費		250,000	230,594	230,000
旅費・交通費		120,000	30,000	150,000
振込手数料		50,000	69,249	70,000
手数料		50,000	20,000	50,000
支出合計		3,680,000	3,379,215	2,416,000
次年度繰越金		1,953,249	2,057,340	1,921,340

II 母校創立百周年支援積立金特別会計の部		単位: 円		
		令和元年度決算	令和2年度予算	
前年度繰越金		3,918,511	4,223,857	
寄付金収入		305,000	0	
利息		346	0	
支出		0	4,223,857	
差引		4,223,857		
次年度繰越金				

役員案(会長、副会長、監事)

- 会長 元木 徹 42回(留任)
- 副会長 金井 敏明41回 丸市 豊也45回 高橋 常昭46回
阿部 浩美54回 白畠 優60回
(以上5名留任)
梅津 功58回(退任)
- 監事 菅原 幸夫42回(留任) 信夫 優子43回(留任)

東京亀城会会則

●第一章 総則

(名 称)
第一条 本会は、東京亀城会と称する。

(事務所)
第二条 本会は、事務所を東京都・神奈川県・埼玉県及び千葉県のいずれかに置く。

(目的)
第三条 本会は、会員相互の親睦を図ると共に、母校酒田東高等学校(以下母校といふ)及び亀城同窓会との連携を密にし、母校の発展に寄与することを目的とする。

(事業)
第四条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

一、総会・懇親会等の開催

二、母校との連携、及び母校への支援

三、亀城同窓会及び各の亀城会との連携

四、母校卒業生の同期会及びクラブ活動等の同窓会との連携

五、母校同窓会との交流

六、会員名簿の作成

七、会報の発行

八、講演会等各種行事の開催

九、その他本会の目的を達成するために必要な事業

●第二章 会員

(会員)

第五条 ① 本会は、山形県立(旧制)酒田中学校、酒田第一高等学校、酒田高等学校若しくは酒田東高等学校に在学した者又は同校の教職員であった者で、関東地方一円に居住する者をもて会員とする。

② 前項で関東地方一円に居住しない者は本会の趣旨に賛同し、入会を希望したとき、理事会の承認を得て会員となることができる。

③ 本会の会員は年会費を支払うものとする。

●第三章 役員等

(種 類)

第六条 ① 本会に、次の役員を置く。

一、会長 一名

二、副会長 六名以内

三、理事 各卒業年次若干名

四、会務執行理事 三十名以内

五、監事 二名

② 本会に、顧問、相談役等の役職を設ける。

(選 任)

第七条 ① 会長、副会長及び監事は、会員の中から、理事会の推薦により、総会において選任する。

② 理事は、各卒業年次の方の会員が行う推薦により、会長が委嘱する。

③ 会務執行理事は、理事会の中から会長が委嘱する。

④ 顧問は、理事会及び総会の推舉により、会長が委嘱する。

⑤ 相談役は、理事会及び総会の推舉により、副会長経験者又は本会に功労のあった会員をもて充てる。

(職 務)

第八条 ① 会長は、本会を代表し、会務を統理する。

② 副会長は、会長を補佐し、会長に事務等があるときは、会長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。

③ 理事は、理事会を構成し、この会則に定める事項を審議する。

④ 会務執行理事は、会務執行理事会を構成し、この会則に定める事項を執行する。

⑤ 監事は、会計を監査するほか、理事会及び会務執行理事会に出席して、意見を述べることができる。

⑥ 顧問及び相談役は理事会に出席し、会務に助言をし、意見を述べることができる。

(任 期)

第九条 ① 役員の任期は一年とする。ただし、再任を妨げない。

② 役員が辞任、死亡その他の事由により欠け、その補充によって選任された役員の任期は前任者の残任期間とする。

●第四章 会議

(種 類)

第十条 本会の会議は、総会、理事会及び会務執行理事会とする。

(總 會)
第十一条 ① 総会は、会員をもって構成し、毎年一回開催し、会長が招集する。

② 次の事項は、総会において議決する。

一、会長、副会長及び監事の選出

二、事業計画及び予算

三、事業報告及び決算

●第五章 会計

(経 費)

第十六条 本会の経費は、年会費、総会会費、広告費、寄付金その他の収入をもてて充てる。

(会計年度)

第十七条 本会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年の三月三十一日に終る。

(暫定予算)

第十八条 当該年度の予算が成立していないときは、会長は、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。

(会計事務担当者)

第十九条 本会の会計事務担当者は、会務執行理事の中から会長が決定する。

●第六章 備考

(備 済)

第十四条 ① 本会に、その事務を処理するため、事務局を置く。

② 事務局は、会務執行理事をもって構成する。

③ 事務局は会務執行理事の中から事務局長を選任する。

④ 事務局長は事務局を組織し、本会の事務を処理し、統括する。

⑤ 会務執行理事会は、次の事項を策定し、会務執行理事は、それを共同又は分担して執行する。

一、総会に付議すべき事項

二、本会の重要な会務の執行に関する事項

三、会務執行理事の具体的な執行方針

⑥ 会務執行理事会は、会務の執行のため、委員会を設けることができる。

(帳簿等)

第十五条 事務局には、会則、会員及び役員名簿、会計帳簿、会務記録等の帳簿及び書類を備えるものとする。

(会計)

第十六条 本会の会計は、会員に祝意を表す慶事の種類及びその方法は理事会で定める。

(申 願)

第二十一条 ① 顧問、相談役、会長、副会長、事務局長及びそれらに準じて本会に對する特別の功勞があった者が死去したときは、香典を呈して弔意を表す。

② 香典の金額は本会に対する功勞その他を勘案して会長が決定する。

(会則の変更)

第二十二条 この会則は、理事会の議を経て、総会において出席者の過半数の議決をもって変更することができる。

(会則の定期改定)

第二十三条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に必要なものは、理事会において決定する。

(附 則)

附 則(昭和四十三年七月十一日施行)

附 則(昭和五十年・五十二年・五十九年・六十一年改正)

附 則(平成八年十一月一日改正)

附 則(平成十九年六月十六日改正)

附 則(平成二十六年六月二十八日改正)

附 則(平成二十八年六月二十四日改正)

附 則(平成三十年六月二十三日改正)

改正後の会則は、改正の議決の日から施行する。

酒田市中町 3丁目3-1 N15ビル2階
TEL 0234-24-8660
営業時間 PM7:30~12:00
定休日 日曜日

酒田市中町 3丁目3-1 N15ビル2階
TEL 0234-24-8660
営業時間 PM7:30~12:00
定休日 日曜日

酒田市中町 3丁目3-1 N15ビル2階
TEL 0234-24-8660
営業時間 PM7:30~12:00
定休日 日曜日

酒田市中町 3丁目3-1 N15ビル2階
TEL 0234-24-8660
営業時間 PM7:30~12:00
定休日 日曜日

酒田市中町 3丁目3-1 N15ビル2階
TEL 0234-24-8660
営業時間 PM7:30~12:00
定休日 日曜日

酒田市中町 3丁目3-1 N15ビル2階
TEL 0234-24-8660
営業時間 PM7:30~12:00
定休日 日曜日

酒田市中町 3丁目3-1 N15ビル2階
TEL 0234-24-8660
営業時間 PM7:30~12:00
定休日 日曜日

酒田市中町 3丁目3-1 N15ビル2階
TEL 0234-24-8660
営業時間 PM7:30~12:00
定休日 日曜日

酒田市中町 3丁目3-1 N15ビル2階
TEL 0234-24-8660
営業時間 PM7:30~12:00
定休日 日曜日

酒田市中町 3丁目3-1 N15ビル2階
TEL 0234-24-8660
営業時間 PM7:30~12:00
定休日 日曜日

酒田市中町 3丁目3-1 N15ビル2階
TEL 0234-24-8660
営業時間 PM7:30~12:00
定休日 日曜日

酒田市中町 3丁目3-1 N15ビル2階
TEL 0234-24-8660
営業時間 PM7:30~12:00
定休日 日曜日

酒田市中町 3丁目3-1 N15ビル2階
TEL 0234-24-8660
営業時間 PM7:30~12:00
定休日 日曜日

酒田市中町 3丁目3-1 N15ビル2階
TEL 0234-24-